



日本のまんなか  
水と緑といで湯の街渋川市

## 令和2年8月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和2年8月17日(月)  
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 渋川市業務継続計画（新型コロナウイルス感染症対応編）を策定します（資料1）
- 2 渋川市アレルギー対応学校給食センター東部学校給食調理場の開所式を開催します（資料2）
- 3 渋川創作こけしギャラリーに「こけし絵付け体験ブース」を開設しました（資料3）

### その他資料提供

- ・令和2年度第3回日本のまんなか渋川・市長と語る会を赤城絵手紙サークルの皆さんと開催します（資料4）
- ・令和2年度「市民環境大学」を開催します（資料5）

○次回開催予定 8月第4回市長定例記者会見  
日時：令和2年8月24日(月)午後1時～  
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
8月17日(月)	9:00	庁議	庁議室 第1委員会室	秘書室 議会事務局
	10:00	議会運営委員会		
	13:00	記者会見	記者会見室	秘書室
8月18日(火)	13:30	決算審査意見書提出	市長応接室	監査委員事務局
8月19日(水)	10:00	第4回市議会臨時会	赤城公民館	議会事務局 秘書室
	13:30	第3回日本のまんなか渋川・市長と語る会		
8月20日(木)	11:00	渋川市アレルギー対応学校給食センター東部学校給食共同調理場 開所式	東部学校給食共同調理場	学校給食課
	13:00	水道週間「小・中学生ポスター・作文コンクール」最終審査	記者会見室 市内	総務経営課 秘書室
	14:00	叙位伝達		
8月21日(金)	10:00	渋川市安全で安心なまちづくり協議会	大会議室	市民協働推進課 危機管理室 危機管理室
	10:00	新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練(赤城地区)	津久田小学校体育館	
	13:00	地域防災に関する懇談会(古巻地区)	大会議室	
	20:00	渋川市長並びに教育長との座談会(渋川青年会議所主催)	大会議室	秘書室
8月22日(土)				
8月23日(日)	15:30	新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練(古巻地区)	古巻小学校体育館	危機管理室
8月24日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	記者会見	記者会見室	秘書室

# 資料1

担当：危機管理室 室長 斉藤 章吉 電話0279-22-2130 内線2180

## 渋川市業務継続計画（新型コロナウイルス感染症対応編） を策定します

現在、新型コロナウイルス感染症の感染者は、全国的に増加傾向にあり、8月15日に群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン」に示された警戒度が2に引き上げられました。

このような状況を受けて、今後、市中での感染拡大などにより市役所職員の出勤が困難な状況となった場合においても、市民の生命と健康を守り、市民生活に必要な行政サービスを継続して提供していくため、新型コロナウイルス感染症対応業務継続計画（BCP）を策定します。

### 1 策定の主旨

新型コロナウイルス感染症の感染者は、5月25日に国内すべての緊急事態宣言が解除された時点から減少していましたが、その後、徐々に増加に転じて、8月中旬には、全国の感染者が5万人を越え、県内でも、感染者の累計が230人を超えるなど、速くも感染の第2波が押し寄せてきたような状況下にあります。

このような状況を受けて、今後の備えとして、市中での感染拡大などにより市役所職員の出勤が困難な状況となった場合においても、市民の生命と健康を守り、市民生活に必要な行政サービスを継続して提供していくため、新型コロナウイルス感染症対応業務継続計画（BCP）を策定するものです。

### 2 策定の目的

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を可能な限り抑制して、市民の生命と健康を守ること。
- (2) 市民生活及び地域経済活動に及ぼす影響を最小限にとどめること。
- (3) 市民生活及び地域経済活動に関わる市の業務を継続するために必要な体制を整えること。

### 3 対応方針

本計画の目的を達成するため、次に示す3つの基本方針に基づき、業務継続を図ります。

- (1) 市民の生命と健康を守り、市民生活を維持するために必要不可欠な業務（非常時優先業務）を継続する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況及び市職員の出勤状況等により、通常業務の一部を中断し、非常時優先業務に職員を重点的に配置する。
- (3) 本計画は、職員の出勤状況等に応じて弾力的に運用するとともに、適宜改正しながら運用する。

#### 4 計画の適用範囲

計画の適用範囲は、市が実施するすべての業務とします。

#### 5 計画の発動

本計画の発動は、群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン」に示された警戒度が「警戒度3（一定の緩和）」または「警戒度4（大幅な制限）」となった場合及び、市中や職場での感染者発生状況などにより、「渋川市新型コロナウイルス感染症・生活経済安定対策本部」（以下、「対策本部」という。）で決定された場合とします。

#### 6 業務の区分

新型コロナウイルス感染症拡大防止と生活経済安定対策として実施する業務を、S、A、B、Cの4つに区分します。

##### (1) 緊急対策業務（S）

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び生活経済安定対策に関して、新たに発生する業務

##### (2) 継続業務（通常業務A）

通常業務のうち、新型コロナウイルス感染症発生時に、市民の生命を守り、市民生活を維持するために中断することができない業務（応援体制により継続する業務）

##### (3) 縮小（延期）業務（通常業務B）

感染拡大防止のため縮小（延期）することが適切な業務（継続、中止以外の業務）で、人員体制を縮小して実施しても市民生活等に与える影響が比較的少ない業務（応援体制は必要ない業務）

##### (4) 中止業務（通常業務C）

通常業務のうち、感染拡大防止のため人が集まる機会を減らすことを目的とし、積極的に中止（中断）することが適切な業務（既に行っているものを含む。）

## 資料2

担当：教育部学校給食課 課長 須田 佳匡 電話0279-22-0132 内線4941

# 渋川市アレルギー対応学校給食センター 東部学校給食共同調理場の開所式を開催します

渋川市アレルギー対応学校給食センター東部学校給食共同調理場が完成し、2学期（令和2年8月24日）から、赤城地区と北橋地区の小中学校に学校給食の提供を開始します。事業の開始に先立って、8月20日（木）に開所式を執り行います。

### 1 目的

令和元年7月に新築工事を開始した、「渋川市アレルギー対応学校給食センター東部学校給食共同調理場」が完成しました。令和2年度2学期（令和2年8月24日）から、赤城地区と北橋地区の小中学校に学校給食の提供を開始するに当たり、開所式を執り行います。

### 2 新しい調理場の特徴

#### (1) 厳しい衛生管理基準に適合したオール電化施設

汚染防止のため、施設内を作業工程ごとに「汚染区域」と「非汚染区域」に区分しています。また、常に床を乾いた状態に保ち、雑菌などの繁殖を防ぐ「ドライシステム」を採用しています。厳しい衛生管理基準に適合した、火を使わないオール電化を導入した施設です。

#### (2) アレルギー対応給食を先行実施

この調理場は、特定原材料7品目を取り除くアレルギー対応給食を、市共同調理場の中で先行して実施する施設として、幅広い調理方法に対応するため、電気スチームコンベクションオープンなどの調理機器を配置しています。

※令和2年2学期から、普通給食のみの提供を開始し、アレルギー対応食については、安全面に考慮しながら早期に提供を開始できるよう調整を進めます。

#### (3) 児童生徒などの学習の場として活用

南部・北部調理場と同様に、2階に設置した会議室と見学通路から調理スペース（煮炊き調理室）などの様子が見渡せ、児童生徒などの学習や研修の場としても活用できます。

### 3 開所式の概要

- (1) 日 時 令和2年8月20日（木）午前11時から
- (2) 会 場 渋川市アレルギー対応学校給食センター東部学校給食共同調理場  
（所在地：渋川市赤城町三原田字中坪前83番地1）
- (3) 内 容 テープカット、記念撮影、施設案内
- (4) 出席者 渋川市長、教育長、渋川市議会議長、渋川市教育委員会教育長職務代理人、赤城地区自治会連合会長、北橋地区自治会連合会長

## 参考

### 渋川市アレルギー対応学校給食センター東部学校給食共同調理場概要

- 1 所在地 渋川市赤城町三原田字中坪前83番地 1
- 2 敷地面積 5215.82㎡
- 3 構造 給食調理場：鉄骨造 2 階建  
車 庫：鉄骨造平屋建
- 4 延べ面積 給食調理場：1831.06㎡  
車 庫：171.00㎡
- 5 建築面積 給食調理場：1247.54㎡  
車 庫：171.00㎡
- 6 総工費 約17億円
- 7 調理能力 1,500食規模
- 8 主要諸室 1 階：玄関・ホール、事務室、検収室、下処理室、食品庫、仕分室、  
器具洗浄室、揚物・焼物・蒸物室、煮炊き調理室、和え物室、  
アレルギー室、洗浄室、コンテナプール、機械室  
2 階：会議室、見学通路、食堂、洗濯乾燥室、休憩室、多目的室
- 9 受配校 赤城地区：三原田小学校、津久田小学校、赤城南中学校、赤城北中  
学校  
北橘地区：橘小学校、橘北小学校、北橘中学校
- 10 学校給食提供開始日 令和 2 年 8 月 24 日(月)

## 資料3

担当：産業観光部商工振興課 課長 牧 伸治 電話0279-22-2596 内線4890

# 渋川創作こけしギャラリーに「こけし絵付け体験ブース」 を開設しました

市では、渋川駅前プラザ2階の渋川創作こけしギャラリーにおいて、渋川市の伝統工芸品である創作こけしの絵付け体験が行えるブースを開設しました。

渋川駅前プラザ1階のしぶかわ名産品センターで、白地のこけしをご購入いただいた方が対象となります。

渋川創作こけしの製作過程の一部を体験することで、その魅力をお楽しみいただくことができるようになりました。

### 1 目 的

渋川市の伝統工芸品である渋川創作こけしの魅力を発信することを目的に、こけしの製作過程である絵付けを体験できるブースを開設しました。

### 2 開設日時

令和2年8月8日(土)～

午前9時～午後7時(年中無休)

※渋川創作こけしギャラリー及びしぶかわ名産品センターの開設時間と同じ。

※絵付け体験の受付時間は午前9時～午後6時

### 3 開設場所

渋川駅前プラザ2階 渋川創作こけしギャラリー内

### 4 内 容

渋川駅前プラザ1階のしぶかわ名産品センターで白地のこけしをご購入いただくと、同建物2階の渋川創作こけしギャラリーで、ご購入いただいた白地のこけしに自由に色を付けることができます。絵付けに要する時間は、おおむね30分程度です。

※絵付け後のこけしは、持ち帰ることができます。

### 5 白地のこけしについて

以下のとおり、しぶかわ名産品センターで販売をしています。

(1) 頭部と胴体が一体の木地(無地)：550円(税込)

(2) 頭部と胴体が一体の木地(模様入)：770円(税込)

(3) 頭部と胴体が別体の木地(無地)：880円(税込)

### 6 その他

渋川創作こけしギャラリーでは、渋川創作こけしの担い手として修行をしている地域おこし協力隊員の大野雄哉さんが活動しているため、時間帯によっては、直接指導を受けながら絵付け体験をすることができます。

また、同ギャラリーでは、渋川こけし人形会の会員や地域おこし協力隊員のこけし作品を常設展示しています。作品は、常時30点程度展示し、四半期ごとに入れ替えています。

## 参考

### ① 渋川創作こけしギャラリーとは

令和元年9月29日に渋川駅前プラザの2階でオープンをしました。渋川こけし人形会の会員の作品を中心に年中無休で展示をしています。開館時間は午前9時から午後7時まで。入場料は無料です。渋川市と渋川こけし人形会との連携協力のもと、渋川こけし人形会がギャラリーの運営を行っています。

### ② 地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱します。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図ります。

### ③ 渋川こけし人形会とは

渋川市、吉岡町、榛東村のこけし作家及び木地師で構成する団体です。「全国創作こけし美術展in渋川」や各種行事等への参加協力、会員間の情報交換及びこけし業界の発展に寄与することを目的に平成18年7月に設立されました。



## 資料4

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏伸 電話0279-22-2110 内線2411

# 令和2年度第3回日本のまんなか渋川・市長と語る会を 赤城絵手紙サークルの皆さんと開催します

## 1 概要

令和元年度から毎月1回、市長と市民との対話方式による会議「日本のまんなか渋川・市長と語る会」を開催し、対話と参加の市政を推進しています。

今回は、赤城絵手紙サークルの皆さんを招いて開催します。

赤城絵手紙サークルは、コロナウイルス感染症の影響により、不要不急の外出を控える赤城地区のひとり暮らし高齢者を元気づけるため、公民館を通じて絵手紙を送ってくれました。こういった取組の話を中心に語る会を開催します。

2 開催日程 令和2年8月19日(水)午後1時30分～午後3時(予定)

3 場 所 赤城公民館1階ホール

## 4 参加者

(1) 赤城絵手紙サークル(8人)

(2) 市長、市長戦略部長、赤城公民館長、秘書室長

5 その他 テーマは設けず、行政全般について御意見や御提案をいただきます。

## 参考

### ■赤城絵手紙サークル

代表者：狩野美江さん

会 員：7人(会員はすべて赤城地区在住の方)

活動日：毎月第1、第3水曜日の午前9時30分～11時30分

活動内容：赤城公民館を利用し、絵手紙の練習を行っている。作品は毎年開催される赤城地区文化発表会で展示している。



## 資料5

担当：市民環境部環境政策課 主事 古藤 慎之 電話0279-22-2114 内線1147

# 令和2年度「市民環境大学」を開催します

## 1 目 的

現在、私たちを取り巻く環境問題は、身近なごみ問題から地球温暖化といった地球規模の問題に至るまで多岐にわたりますが、その原因の多くは私たちの生活や社会活動にあるといえます。これらの問題を解決するためには、環境と私たちの生活の関わりに関心を持つとともに、日常生活に深く関わる環境問題に対して正しく理解し、環境への負荷の少ない生活の実践に取り組む必要があります。そこで、現在の環境問題を知り、自らの問題として考え、主体的に行動していけるよう、きっかけづくりとしての学習会を開催します。

また、本学習会を通して、市民の環境に対する意識と知識の向上を図り、地域で自ら意欲的に環境保全活動を実践できる人材（環境市民）を育成します。

## 2 事業概要

(1) 全体テーマ 「最新の環境問題を学ぼう」

(2) 開催日及び内容等

回	期日	内 容
第1回	令和2年 9月13日(日)	環境学とは？最近の環境問題とその解決プロセス 講師：渋川市環境政策課主事 古藤慎之
第2回	令和2年 10月18日(日)	地球温暖化について 講師：前橋地方気象台 気象情報官 岩野園城さん
第3回	令和2年 11月15日(日)	海洋汚染を防ぐには？-プラスチックごみを減らす工夫- 講師：群馬大学理工学部教授 粕谷健一さん
第4回	令和2年 12月6日(日)	最新の温暖化対策を学ぼう 講師：群馬県気候変動対策課課長補佐 上原和重さん
第5回	令和3年 2月14日(日)	電力自由化と環境問題 講師：高崎経済大学地域政策学部准教授 森田稔さん

(3) 開催時間 全回午後1時30分～3時30分

(4) 開催場所 全回渋川市中央公民館4階ホール

(5) 対象者 市内在住、在勤、在学で、原則全回参加できる人

(6) 定 員 30人(先着順)

(7) 申込方法 電話で環境政策課 (TEL 0279-22-2114) へ

(8) 申込開始日 令和2年8月24日(月)

## 3 「渋川市エコ・リーダー」の認定について

市民環境大学全5回のうち、概ね8割出席した受講者を「渋川市エコ・リーダー」に認定します。エコ・リーダーは、地域での環境問題に取り組む先導役として地域環境保全活動の持続的な実践に活躍していただく人で、現在、245人が認定を受けています。